

県内自治体保健師の人材育成 及び確保・定着に向けた取組



医療人材対策室看護班
技術補佐(班長) 八巻 直恵、○技師 辻 真由子
北部保健福祉事務所栗原地域事務所疾病対策班
技術次長(班長) 築場 玲子

1 活動報告の概要

活動報告の概要

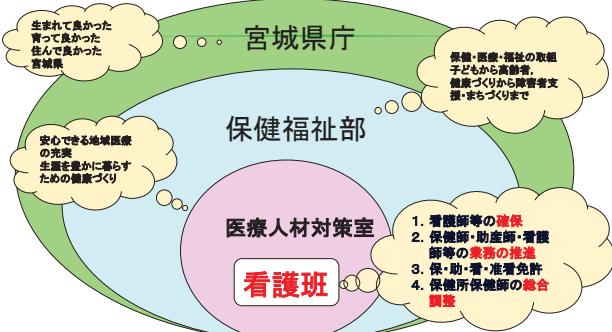
- (1) 保健師の人材育成体制について、各職場、各圏域、全県の取組状況等を定期的に評価し、時代の変化に応じた**県内自治体保健師の人材育成の推進について検討する場が必要**
- (2) 保健師の確保・定着に苦慮している自治体もあり、**県内自治体保健師の確保・定着の方策について検討する場が必要**

「宮城県保健師育成検討会」を設置し、各種調査を実施した上で、県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進するための**新たな取組**を始めた

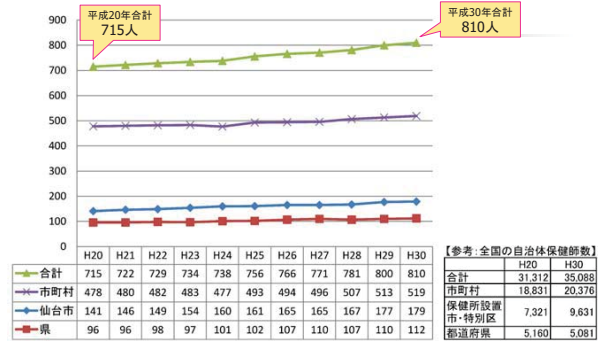
- 各種調査及び検討会での議論の結果、本県においては、自治体保健師の**人材育成と確保・定着は表裏一体**の関係にあり、運動させながら取り組む必要があることが示唆された
- 県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進するためには、**自治体、保健師養成校、職能団体の連携が必要**であり、自治体内における**保健師人材育成担当部署と人事担当部署の連携が不可欠**である
- 検討会の設置は、その**連携を推進**する契機となった。また、各種調査を実施した上で、本県に必要な施策を検討し、関係機関と共通認識を持ちながら各施策を展開することにより、**県内自治体保健師の人材育成体制構築が推進された**と考える

2 背景

医療人材対策室看護班の業務



県内自治体保健師数の推移



県内自治体保健師の充足状況

		平成30年度採用	平成29年度採用	平成28年度採用
市町村 (仙台市除く)	確保率(%)	81.6%	72.2%	93.1%
	採用人数/募集人数			
	募集市町村数	23	22	20
	募集人数	38	36	29
仙台市	採用市町村数	18	14	18
	採用人数	31	26	27
	確保率(%)	80.0%	180.0%	80.0%
	採用人数/募集人数			
県	募集人数	10	10	10
	採用人数	8	18	8
	確保率(%)	70.0%	80.0%	110.0%
	採用人数/募集人数			
募集人数	募集人数	10	10	10
	採用人数	7	8	11

出典：保健師新規採用状況及び保健師・助産師・看護師等の任用状況調査(宮城県保健福祉部医療人材対策看護班調べ)

「地域における保健師の保健活動について」

(厚生労働省健康局長通知 平成25年4月19日付け 健発0419第1号)

◆ 通知 記の2
都道府県及び市町村は、保健師の職務の重要性に鑑み、(略)保健師の計画的かつ継続的な確保に努めること。(以下略)

◆ 通知 記の4
都道府県及び市町村は、(略)各地方公共団体に、**において策定した人材育成指針により、体系的に実施すること。**(以下略)

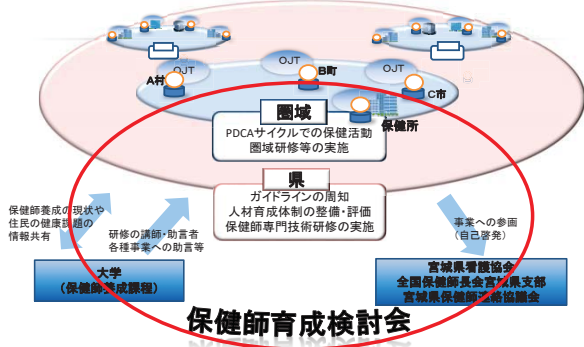
＜本県の取組み＞
● 平成28年2月『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』策定
● 平成28年9月『宮城県保健師育成プログラム』策定
● 平成29年度『宮城県保健師育成検討会』設置

「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ」 ～自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて～

(厚生労働省健康局長健康課 平成28年3月31日付け 事務連絡)

体系的な研修体制構築の推進～組織全体で取り組む人材育成～
◆ 効果的な保健師の人材育成体制構築のためには、まず保健師間で人材育成の方針等について議論を重ね、人材育成指針を定め、共通理解を図ることが必要である。その上で、**自治体の人事部門と共に検討する場を設け、保健師の人材育成について組織的に推進することが重要である。**

保健師育成検討会(H29年度～)



3 活動内容

平成29年度	1. 「宮城県保健師育成検討会」の設置及び開催
平成30年度	2. 「保健師の人材育成及び確保・定着に関する調査」の実施
	3. 「平成30年度保健師の人材育成等に係る担当者会議」の開催
	4. 「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」の作成
	5. 「平成30年度宮城県自治体保健師合同就職説明会」の開催

1. 「宮城県保健師育成検討会」の設置及び開催

○設置 平成29年度

○背景

- (1) 人材育成体制について、各職場、各圏域、全県の取組状況等を定期的に評価し、時代の変化に応じた県内自治体保健師の人材育成の推進について検討する場が必要（『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』）
- (2) 保健師の確保・定着に苦慮している自治体もあり、県内自治体保健師の確保・定着の方策について検討する場が必要

○目的

宮城県における保健師の資質向上及び確保・定着等に関する施策を検討する

○構成委員

保健師の人材育成や確保、教育に携わる者(市町村、県、大学(保健師養成課程)、職能団体の代表者等):12人以内
 *平成29年度委員:市町村3人、県4人、大学4人、職能団体1人
 *平成30年度委員:市町村3人、県2人、大学4人、職能団体1人

○開催状況

第1回:平成29年8月9日(水) 委員12人出席
 第2回:平成30年2月20日(火) 委員12人出席

まずは調査を!

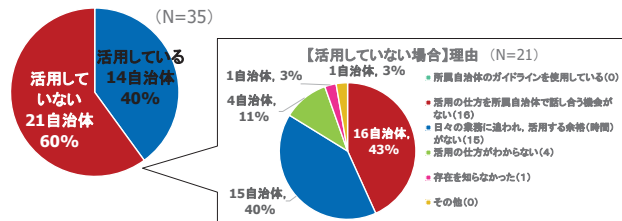
2. 「保健師の人材育成及び確保・定着に関する調査」の実施

	【調査1】 保健師の現任教育及び『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況等に関する調査	【調査2】 保健師の確保・定着及び就職活動等に関する調査の概要
目的	●ガイドラインの活用状況を把握する ●策定前後の現任教育体制の比較を行う ●今後の施策を検討する基礎資料とする	●県内各自治体の確保・定着に関する取り組み状況や考え ●採用1年目保健師が就職時に考慮した点や入職後の思い ●県内保健師養成校の在学生が就職時に考慮する条件や希望等を把握する ●今後の施策を検討する基礎資料とする
対象	1 市町村(仙台含む) 35市町村 2 保健師養成校 97所 (回答者: 経歴的な役割を担う保健師、保健師の人材育成を担当する保健師)	1 県内保健師養成校保健師養成課程の学部生及び大学院生 267名 2 県内自治体教育1年目保健師 43名 3 県内市町村(仙台市含む) 人事担当課 35市町村 4 県内市町村(仙台市含む) 保健師人材育成担当課 35市町村 5 県保健師人材育成担当課(保健福祉総務課) 1部署
実施期間	平成29年12月18日から平成30年1月9日まで	対象1:平成29年12月18日から平成30年1月18日まで 対象2:平成29年11月27日 対象3・4・5:平成29年12月18日から平成30年1月9日まで
方法	各市町村保健福祉担当課、各保健師企画総務課・各保健師支所地域保健課へ電子メールにて回答票を送付及び回収	対象1:郵送にて回答票を送付及び回収 対象2:研修参加時に回答票を配布し回収 対象3・4・5:電子メールにて回答票を送付及び回収
回収率	100%	対象1:74.9% 対象2:100% 対象3:98.6%、対象4:100%、対象5:100%
調査項目	①保健師数・配置状況(平成29年5月1日現在) ②保健師門業務の担当方法 ③保健師の現任教育の体制やしくみ ④『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況 ⑤保健師の人材育成での工夫等	対象1:卒業後の希望職種、就職先を決める際に重視すること、自治体保健師の活動について知りたこと、開催してほしいイベント等 対象2:入職の決め手、入職後の心境や所属の印象、イメージの変化等 対象3・4・5:保健師募集の周知手段、採用方法、課題、各種施策への意向等

現状 ～ 人材育成① ～

保健師の現任教育及び『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況に関する調査
 (平成29年度宮城県保健福祉部医療人材対策室)

『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況

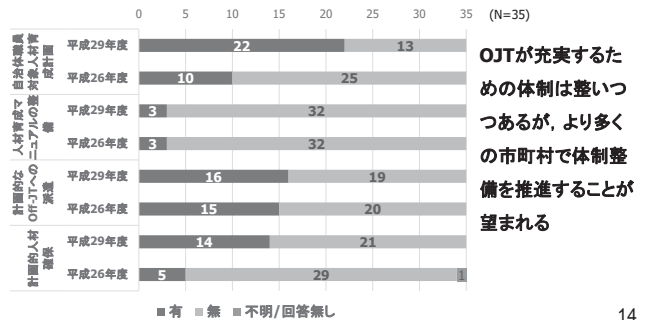


- 活用している自治体は4割(14自治体)にとどまっている
- 活用していない理由は、“活用の仕方を所属自治体で話し合う機会がない”、“日々の業務に追われ、活用する余裕(時間がない)”が多い

現状 ～ 人材育成② ～

保健師の現任教育及び『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況に関する調査
 (平成29年度宮城県保健福祉部医療人材対策室)

保健師の現任教育の体制やしきみ(ガイドライン策定前後の比較)



現状 ～ 人材育成③ ～

保健師の現任教育及び『みやぎの保健師人材育成ガイドライン』の活用状況に関する調査
 (平成29年度宮城県保健福祉部医療人材対策室)

【人材育成の工夫】(自由記載より抜粋)

- ・ 自治体保健師全員で目指す保健師像やそのための人材育成の方向性を話し合い、独自のガイドラインを作成した
- ・ 圏域や所属を超えて、人材育成に係る研修を企画・実施している

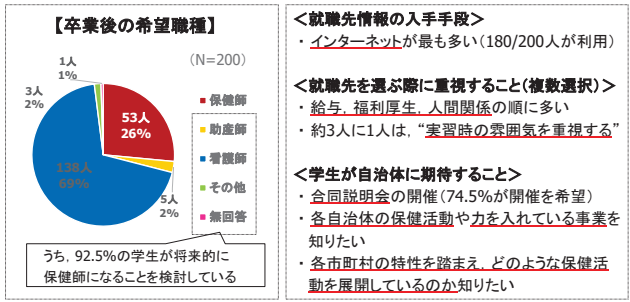
課題 ～ 人材育成 ～

- ガイドラインの活用について話し合う機会(時間)がない自治体が多い
- 人材育成への取組に自治体毎の差が生じている

↓
 県内各自治体が自分たちの自治体で目指す保健師像やそのための人材育成について検討することが必要

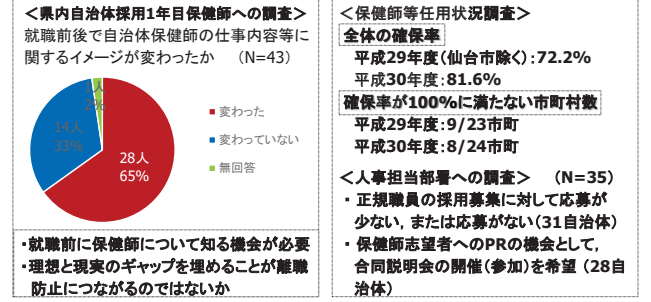
現状 ～ 確保・定着① ～

県内保健師養成校に在籍する保健師養成課程履修学生への調査
(平成29年度宮城県保健福祉部医療人材対策室)



現状 ～ 確保・定着② ～

自治体職員への調査
(平成29年度宮城県保健福祉部医療人材対策室)



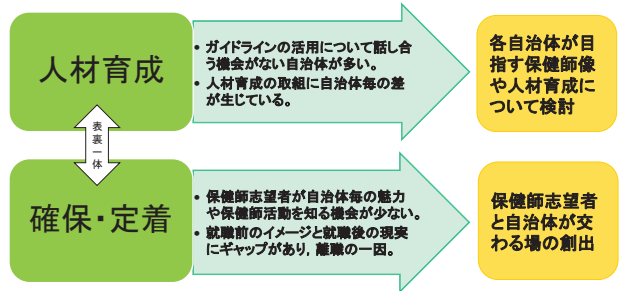
課題 ～ 確保・定着～

- 保健師志望者が自治体毎の魅力や保健師活動を知る機会が少ない。また、自治体はそれらを発信する機会が限られている。
- 就職前のイメージと就職後の現実にギャップがあることが離職の一因となっている。



保健師志望者と自治体が交わる場の創出が必要

県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する課題(まとめ)



県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する取組の方向性

- 【目的】**
- ①県内自治体保健師の資質向上を図る
 - ②県内自治体の保健師を充足させる
- 【目標】**
- ①県内全市町村で人材育成を体系化する
 - ②県内自治体保健師確保率が100%になる

平成35年度までに、県内の自治体、保健師養成校、関係団体の連携により、保健師志望者に県内各自治体の特色や魅力が伝わる体制を整え、県内各自治体保健師を育成する体系を整え、県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進する。

今後の取組の方向性

年度	取組の方向性
29	宮城県保健師育成検討会の設置 ・保健師確保率への第一歩 ・人材育成及び確保・定着に係る調査実施 ・今後の取組の方向性の検討
30	人材育成 ・地域に現状共有、話し合い ・自治体毎の「魅力」を把握し、大いに活かしていること、求める保健師像の調査 ・県内自治体毎の活動紹介ガイドブックの作成 ・県内自治体毎の確保率の把握 ・平成30年度新卒採用の状況 ・自治体毎の確保率の把握
31	・地域毎、市町村毎に保健師の人材育成を推進するための取組実施 ・中間評価、目標達成し ・自治体毎の確保率の把握 ・平成31年度新卒採用の状況 ・自治体毎の確保率の把握
32	・各自治体の方向性の共有 ・自治体毎の確保率の把握 ・自治体毎の確保率の把握 ・自治体毎の確保率の把握
33	・市町村毎に保健師の人材育成を推進 ・保健師志望者増加 ・自治体毎の確保率の把握 ・自治体毎の確保率の把握
34	・最終評価 ・自治体毎の確保率の把握 ・自治体毎の確保率の把握
35	・県内全市町村で人材育成を体系化 ・確保率100% ・5年間の取組の評価、新たな目標設定

【平成30年度の取組】

- 人材育成
圏域毎に現状共有、話し合い
- 確保・定着
『県内自治体保健師活動紹介ガイドブック』の作成
▶平成30年12月末完成

『宮城県自治体保健師合同就職説明会』の開催
▶平成31年3月6日開催予定

3. 「平成30年度保健師の人材育成等に係る担当者会議」の開催

目的	県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する取組の方向性について共有し、県内自治体保健師の人材育成等を推進する。
日時	平成30年8月6日(月)午後1時30分から午後3時まで
場所	宮城県本町庁舎(漁信ビル)7階 702会議室
参加者	計59名(内訳:市町村45名、県14名) (内訳:人事担当者16名、保健師人材育成担当者43名)
内容	(1)説明 県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着に関する取組の方向性について説明者 宮城県保健福祉部医療人材対策室 (2)話題提供 市町村における保健師の人材育成の取組 提供 登米市市民生活部健康推進課 (3)話題提供 県内の保健師養成教育の現状について～目指している卒業時の姿～ 提供 宮城大学看護学群 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野 (4)質疑応答

→ ガイドブックの作成、合同就職説明会の開催

4. 「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」の作成

目的 県内自治体の保健師活動の魅力や発信し、保健師の確保・定着を促進する。

ガイドブックの構成

- ◆はじめに
- ◆ガイドブックのねらい
- ◆自治体の保健師活動の概要
- ◆宮城県地域マップ
- ◆各自治体の紹介
(自治体概要、目指す保健師像、保健師の教育体制、保健師活動の魅力、様々な支援制度、PRポイント、問合せ先(インターネット受付の可否等))
- ◆市町村データ集
- ◆看護師 保健師 助産師になるには?

作成期間 平成30年10月3日から平成30年12月28日まで
(人事担当課及び保健師人材育成担当課で作成)

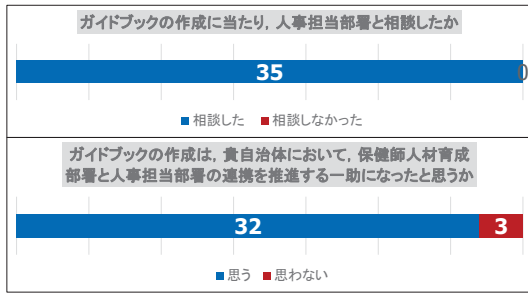
送付先 県内各市町村、部内関係各課室・各保健所(支所)・関係機関、市町村課、県内外の保健師養成校、宮城県保健師育成検討会委員、宮城県看護協会、厚生労働省

その他 職員ポータル・当室ホームページに掲載
Facebook・メルマガみやぎ・ラジオ等で周知

『みやぎの保健師になろう!』
看護学生・未就業保健師等向け
『県内自治体保健師活動紹介ガイドブック』
Welcome みやぎの保健師!

編集・発行 宮城県保健福祉部医療人材対策室

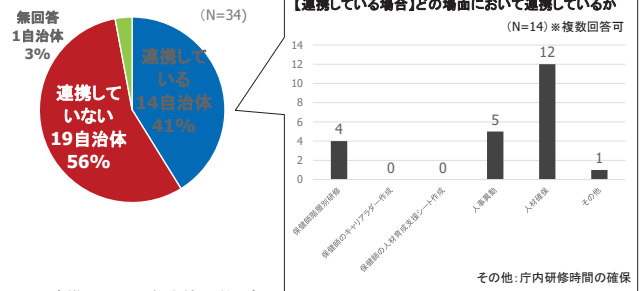
「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」作成後の評価① (n=35)



【参考】保健師の人材育成の推進における人事部門との連携

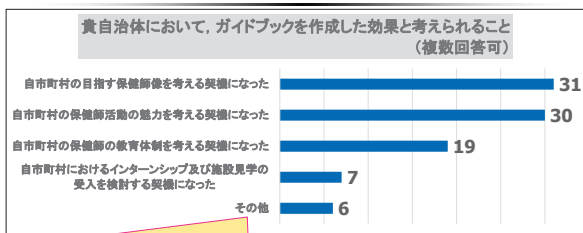
(平成30年6～7月 厚生労働省健康局健康課保健指導室調査 県集計)

保健師の人材育成の推進における人事部門との連携



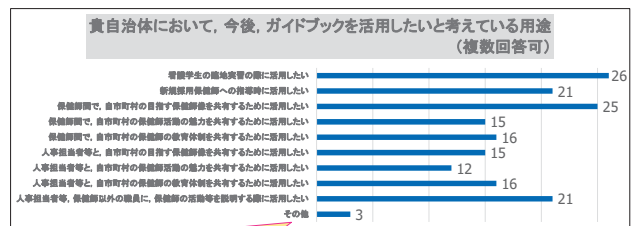
- 連携している自治体は約4割
- 人材確保について連携している自治体が多い

「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」作成後の評価② (n=35)



【その他の内容(自由記述)】
 ・自治体の保健師活動や人材育成の取組を知ることができた。 ・他自治体の体制や目指す保健師像が参考になった。
 ・作業を通して困難を感じる機会となった。 ・人事担当部署と情報共有する機会となった。
 ・継続として、人材育成について取り組まなければならないという動機が強化された。また、人事の協力を得て作成したことで、人材育成の必要性を共有することができた。

「県内自治体保健師活動紹介ガイドブック」作成後の評価③ (n=35)



【その他の内容(自由記述)】
 ・募集の場、大学の就職担当者への説明に活用したい。
 ・保健師間及び人事担当者等と自市町村の状況を認識しながら、自市町村の育成体制を検討するために活用したい。
 ・保健師間で県内各市町村の保健師配置状況等の把握、共有に活用したい。

5. 「平成30年度宮城県自治体保健師合同就職説明会」の開催

目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内自治体職員が保健師養成課程の現状を知る ● 保健師志望者が県内各自治体の保健師活動の魅力を知る → 県内各自治体への就業促進及び離職防止を図る
日時	平成31年3月6日(水) 午前10時30分から午後3時30分まで
場所	宮城県行政庁舎 2階 講堂
内容	<p>【第一部】 対象：県内自治体保健師及び人事担当者 ▶ 話題提供 県内の保健師養成教育の現状について～目指している卒業時の姿～ 話題提供者 県内各保健師養成校(4校)の担当教員</p> <p>▶ 話題提供 宮城県看護協会からの情報提供 話題提供者 宮城県看護協会</p> <p>【第二部】 対象：県内外の保健師を目指す学生等 ▶ 話題提供 県内自治体の保健師活動の魅力 話題提供者 市町村、仙台市、県 ▶ 座談会(県内各自治体のブースに分かれた座談会) e-NC出張登録会・相談会(宮城県ナースセンター職員による登録支援・相談対応)</p>

4 考察

考察

- 各種調査及び検討会での議論の結果、本県においては、自治体保健師の**人材育成と確保・定着は表裏一体**の関係にあり、連動させながら取り組む必要があることが示唆された。
- 県内自治体保健師の人材育成及び確保・定着を推進するためには、**自治体、保健師養成校、職能団体の連携が必要**であり、自治体内における**保健師人材育成担当部署と人事担当部署の連携が不可欠**である。検討会の設置は、その**連携を推進する契機**となった。
- また、各種調査を実施した上で、本県に必要な施策を検討し、関係機関と共通認識を持ちながら各施策を展開することにより、**県内自治体保健師の人材育成体制構築が推進された**と考える。

ご静聴ありがとうございました

